

日本原子力学会 保健物理・環境科学部会
2010年春の年会 総会議事(案)

日時：2010年3月28日(日) 12時～13時

場所：A会場 共通教育棟2号館 10講義室(茨城大学)

議 事 次 第

進行：山澤委員・横山委員

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 部会長挨拶 | 米原部会長 |
| 2. 運営委員とその役割について(資料) | 山澤委員・横山委員 |
| 3. 平成21年度部会決算見込及び22年度予算案(資料) | 森泉委員 |
| 4. 部会企画について(資料) | 永井委員 |
| 5. 部会主催・共催シンポジウム等 | 小池委員 |
| 6. 2010年秋の大会以降の部会企画等について(資料) | 永井委員 |
| 7. 委員会等報告(資料) | 各担当委員 |
| 8. その他 | |
| 9. 閉会挨拶 | 次期部会長 |

以上

日本原子力学会 保健物理・環境科学部会
第 5 期(2008-2009)、学会委員等名簿

【役員】

部会長 : 米原英典 (放医研)
副部会長: 占部逸正 (福山大) 外川織彦 (原子力機構)
会計監査: 宮川俊晴 (原燃)

【運営委員】

飯田孝夫 (名大) 飯本武志 (東大) 石森有 (原子力機構) 植頭康裕 (原子力機構)
内田滋夫 (放医研) 占部逸正 (福山大) 木名瀬栄 (原子力機構) 栗原治 (放医研)
小嵐淳 (原子力機構) 小池裕也 (東大) 小佐古敏荘 (東大) 杉浦紳之 (近大)
高田千恵 (原子力機構) 高橋知之 (京大) 竹安正則 (原子力機構) 塚田祥文 (環境科研)
外川織彦 (原子力機構) 床次眞司 (放医研) 永井晴康 (原子力機構) 橋本周 (原子力機構)
服部隆利 (電中研) ニッ川章二 (RI 協会) 本間俊充 (原子力機構) 三浦太一 (高工研)
宮川俊晴 (日本原燃) 宮崎振一郎 (関電) 百瀬琢磨 (原子力機構) 森泉純 (名大)
山澤弘実 (名大) 山西弘城 (核融合研) 横山須美 (藤田保健衛生大) 米原英典 (放医研)

【学会委員】

代議員	飯田孝夫 (名大)	2008 ~ 2009 年度
	本間俊充 (原子力機構)	2008 ~ 2009 年度
部会等運営委員	飯本武志 (東大)	2007 ~ 2009 年度
学会誌編集委員	高橋知之 (京大)	2007 ~ 2009 年度
	三浦太一 (高工研)	2007 ~ 2009 年度
	木名瀬栄 (原子力機構)	2008 ~ 2010 年度
	床次眞司 (放医研)	2008 ~ 2010 年度
学会プログラム委員	* 植頭康裕 (原子力機構)	2005 ~ 2008 年度
	* 高田千恵 (原子力機構)	2009 ~ 2011 年度
	永井晴康 (原子力機構)	2007 ~ 2009 年度
	横山須美 (藤田保衛大)	2008 ~ 2010 年度
日韓サマースクール運営連絡会担当	飯本武志 (東大)	2005 ~ 未定

【第 5 期部会内担当委員】

総務担当: 山澤弘実、横山須美 (運営委員会及び総会運営、その他雑務)
会計担当: 栗原治、森泉純 (会計)
渉外担当: 小池裕也、塚田祥文 (学会事務局、他学協会、他部会等との連絡調整等)
企画担当: 山西弘城、永井晴康 (部会企画の立案、運営、プログラム作成等)
広報担当: 石森有、竹安正則 (HP、メーリングリスト管理、部会ニュース作成等)
組織担当: 橋本周、ニッ川章二 (投稿論文、学会発表の勧誘、部会員の増強)

部会企画について

2008 秋の大会 9月 5日(金) 13:00~14:30

部会企画セッション(保健物理・環境科学部会)

「ICRP2007年勧告のインパクト」

座長:東大 飯本 武志(代理)

- | | | |
|-------------------------------------|------------|--------|
| 1. ICRP 新勧告 2007 年の要点 | 日本アイソトープ協会 | 佐々木 康人 |
| 2. ICRP2007 年勧告の国内法令への取り入れの検討状況について | 文科省 | 桐生 康生 |
| 3. パネル討論(考慮すべき論点) | 東京電力 | 鈴木 晃 |
| | 放医研 | 米原 英典 |

2009 春の年会 3月 25日(水) 13:00~14:30

部会企画セッション

「ヨウ素 129 の測定技術の現状と環境中移行研究への応用」

座長:原子力機構 外川 織彦

- | | | |
|-----------------------------|----------|-------|
| 1. ヨウ素 129 に関する環境及び地球化学的研究 | 学習院大 | 村松 康行 |
| 2. 文科省マニュアル“ヨウ素 129 分析法”の改定 | 日本分析センター | 磯貝 啓介 |
| 3. ヨウ素 129 の AMS 測定及びその応用研究 | 東大 | 松崎 浩之 |

備考:企画セッション後の一般公演枠でヨウ素 129 関連研究のシリーズ発表 6 件

2009 年秋の大会以降の部会企画等について

09 年秋 (at 東北大) の部会企画は、「保健物理」の内容であり、これまでに提案された企画案のうち次の内容を選定した。

[環境の防護、廃棄物処分]

- 1) 環境の防護 (一例としてネズミやカエルの線量評価)
- 2) 環境防護 (廃棄物処分と関連させる)
- 3) 廃棄物処分の安全基準 (バックエンドとの共同)
- 4) 放射性廃棄物に係わる長半減期核種の環境移行

この内容に基づき、以下の企画を提案したい。

「環境の防護と廃棄物処分」(仮題)

連携：バックエンド部会

概要：ICRP2007 年新勧告で新たに追加された「環境の防護」について、概要、影響、課題などを解説し、廃棄物処分の安全基準へのインパクトなどについて議論する。

検討事項：講演内容と演者、連携方法、取りまとめ協力者、シリーズ発表の有無など

参考：これまでに提案された他の企画案

- ・「地震、事故・トラブル、テロ等による放射能 (線) 放出時に対する緊急時対応」
概要：地震、事故・トラブル、あるいはテロ等により、放射能 (線) が放出される場合に対する緊急時対応の現状について議論したい。
- ・「放射線のリスクコミュニケーション」
連携：社会・環境部会
概要：リスクコミュニケーションにおいて重要になる、一般公衆の放射線に関する知識構造について、議論したい。
- ・「国際宇宙ステーションの進展と宇宙飛行士の被ばく」
連携：放射線工学部会
概要：国際宇宙ステーションの今後の進展について紹介していただくとともに、宇宙飛行士の被ばくに着目して、線量測定や線量制限の考え方について、議論したい。
- ・ [モニタリング]
概要：1) モニタリング指針の改定、2) 原子力施設周辺のモニタリングの現状、3) 降雨による異常線量上昇、4) 気象指針の改定
- ・ [防災・緊急時対応]
連携：社会・環境部会
概要：1) 防災指針、2) 緊急時モニタリング指針の改定 (一例としてヨウ素の取り込み 20% を考慮した場合の線量係数) 3) 緊急時における対応と訓練、4) 緊急時対応システム (緊急時環境影響予測システムの改良や運用方法など)
- ・ [環境中物質動態予測]
概要：再処理を対象として、現状の予測レベルと課題を明らかにし、今後どのような研究を重点的に行い、予測手法を確立するかを議論する。

保健物理・環境科学部会の web ページについて

平成 21 年 2 月 2 日

石森

平成 20 年度の保健物理・環境科学部会の web ページ更新について、これまでの変更履歴を見ると、基本的にはファイルのサーバー内保存とリンクの設定程度で、外注が必要なほどの更新作業はほとんど無く、幹事委員などによる直接的な運営が可能と考えられたことから、組織的な対応を行える体制を整えるため、学会事務局 HP 担当者に以下の検討を依頼しているところ。

- (1) 保健物理・環境科学部会の web ページの更新作業をパスワードの取得等により担当幹事委員が直接できるよう依頼した
- (2) 公開前に運営委員間で確認可能なように、隠し URL 等を設けることを依頼した。

今後、学会事務局 HP 担当者の回答により、作業、引き継ぎなどを容易にするため作業のマニュアル化、遅延している具体的更新作業を実施予定。

以 上